

授業科目名・形態	精神保健福祉援助演習Ⅰ 演習	必修・選択の別	選択		
担当者氏名	脇山園恵・白男川尚・古川博文・石岡和志	開講期	3年後期	単位数	1

### 【授業の主題】

本演習では、精神保健福祉援助の知識と技術に係る他の科目との関連性も視野に入れつつ、精神保健福祉士に求められる相談援助に係る基礎的な知識と技術について、実技や事例を通して実践的に習得するとともに、専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる能力を涵養することを目的としている。

### 【到達目標】

- 1) 基本的なコミュニケーション技術と基本的な面接技術を身につける。
- 2) 基本的な情報の収集と問題の発見・分析・解決の方法と基本的な記録に関する知識と技術を身につける。
- 3) 福祉ニーズ調査の目的を明確にし、目的に沿った調査計画を考えることができる。

### 【授業計画・内容】

- 第1回 オリエンテーション（全員）
- 第2回 演習の意義と目的（脇山）
- 第3回 相談援助の基盤①～自己理解と他者理解、専門職の価値と倫理～（白男川）
- 第4回 相談援助の基盤②～利用者の理解、援助関係の理解～（古川）
- 第5回 相談援助の基盤③～基本的なコミュニケーション技術～（脇山）
- 第6回 相談援助の基盤④～基本的な面接技術～（石岡）
- 第7回 グループにおける相談援助の理解～グループワークの必要性とその理解、展開過程～（脇山）
- 第8回 個人に対する相談援助の理解①～情報の収集・整理・伝達の技術～（古川）
- 第9回 個人に対する相談援助の理解②～課題の発見・分析・解決の技術～（古川）
- 第10回 記録の理解①～記録の必要性とその方法、記録の技術～（石岡）
- 第11回 記録の理解②～観察法、マッピング技法～（古川）
- 第12回 地域福祉の基盤整備にかかわる相談援助の理解①～地域住民に対するアウトリーチとニーズ把握～（白男川）
- 第13回 地域福祉の基盤整備にかかわる相談援助の理解②～地域アセスメント、地域福祉計画の策定～（白男川）
- 第14回 地域福祉の基盤整備にかかわる相談援助の理解③～社会資源の活用・調整・開発～（石岡）
- 第15回 地域福祉の基盤整備にかかわる相談援助の理解④～ネットワーキング、ソーシャルアクション～（脇山）

### 【授業実施方法】

基本的にはグループ演習とする（必要に応じて講義形式を取り入れる）。

### 【授業準備】

教科書を事前に確認し、わからない語句などは専門書や辞典などで調べておくこと。日頃から新聞などで報じられる精神障害者をはじめとする障害者の抱える問題に関心を持ち、それらの問題とソーシャルワーク実践との関係について確認すること。

### 【主な関連する科目】

精神保健福祉援助実習指導、精神保健福祉援助実習、精神科ソーシャルワーク論、精神科リハビリテーション学Ⅰ・Ⅱ、精神保健福祉援助技術各論Ⅰ・Ⅱ、地域福祉論Ⅰ・Ⅱ、福祉行財政と福祉計画

### 【教科書等】

日本精神保健福祉士養成校協会編『新・精神保健福祉士養成講座8 精神保健福祉援助演習（基礎・専門）』中央法規出版。

### 【参考文献】

必要に応じて紹介する。

### 【成績評価方法】

提出物（ワークシートなど）50%、グループ発表への参加状況30%、ロールプレイなどへの参加状況20%で評価する。60%以上の得点で合格とする。

### 【学生へのメッセージ】

精神保健福祉士としての課題は、精神障害者の生活問題に対応するために、社会的復権と人権擁護の役割を担い、社会復帰を妨げているといわれる障壁を取り除き、地域社会の体制を整えることが挙げられる。利用者との「かかわり」を大事にする専門職の実践への準備ととらえて演習に臨んでください。